

「たいへんだ。エンジンがかからない。」

ここは、石川県のすず市。私たちは、キャンプに来ています。ところが、車を開け閉めしているうちに、バッテリーが切れてしまったのです。一時はどうなることか、と思っただけで、かんり人さんの車から、コードのよなもので、バッテリーを分けてもらいました。そして、海に行くためと、じゆう電するために、車で走りました。

私たちは、家族だけで行くキャンプは、これが初めてだったので、初めてやるのがたくさんありました。バーベキュー、テントを建てて、その中でねむることなど、いろいろ初めてがたくさんありました。その中で、心に残ったことが、いくつもあります。

一番心に残ったことは、夜ねる時のこわさです。林が近く、くまやたぬきのような野生動物や、お化けがこわくて、最初はあまりねむれませんでした。

二番目に心に残ったのは、バーベキューでのおいしさです。特に、とうもろこしととり肉、そしてお米がおいしかったです。とうもろこしはまだ温かくてシャリシャリしておいしかったし、とり肉は、炭火焼きの味が出て、今まで食べたとり肉の中で、一番おいしかったです。お米は、こげるだろうな、と覚ごしていたけれど、少しこげめがついただけで香ばしく、おいしかったです。

三番目に心に残ったのはカラスです。テントでねていたときに、すぐとなりでカラスの足音が聞こえ、こんなにカラスが近くににいるなんて、とびつくりしました。

このキャンプでは、家族で協力する、ということや、失敗は成功のもと、ということを学びました。テントを立てたり、火が消えないようにしたり、夜ねる時に、こわくないよ、とはげましあったりしました。さらに、バッテリーが切れてしまう、という失敗から、バッテリーとはなにか、を学べる、という成功も生まれました。家族で来たからこそ、協力する、ということや、失敗を成功のもとにする、ということができたんだな、と思いました。